

のり海況速報 第7報 (27-7)

平成27年12月25日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/21：内湾(ふさなみ)、12/22：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(12/11-24)、東京湾口海況図(12/11-24)
 自動観測ブイデータ(12/11-24)、拓南観測データ(12/22)
 モニタリングポスト(12/21：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は13～14℃台で、昨年同時期に比べて2℃程高くなっています。塩分は30～32台で、平年並みからやや高めです(図1)。
- ・内房北部の表層水温は12日頃からの沖合水の影響によって15～16℃台になっています。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、ノリ漁場沖合(st. 10)の水深15m以深に水温17.5℃以上、塩分34以上の水塊がみられます(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は継続しており、24日現在金谷から久里浜ライン付近の表層水温は18℃台の水塊が及んでいますので、この動きには注意が必要です。

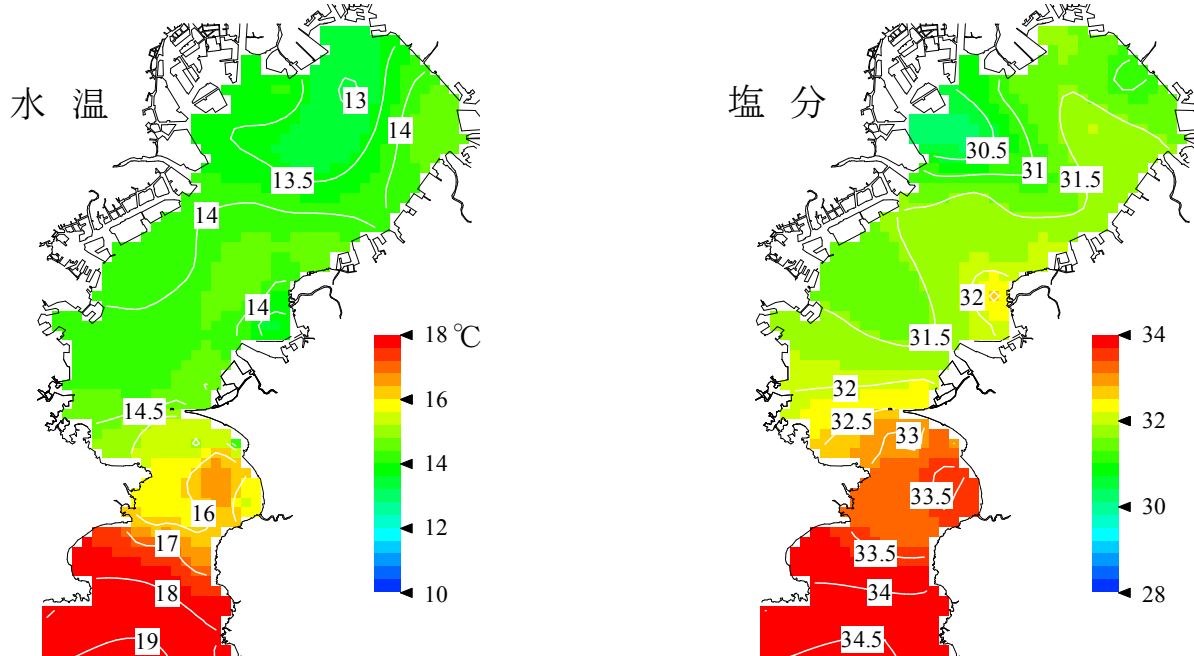


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年12月21-22日)

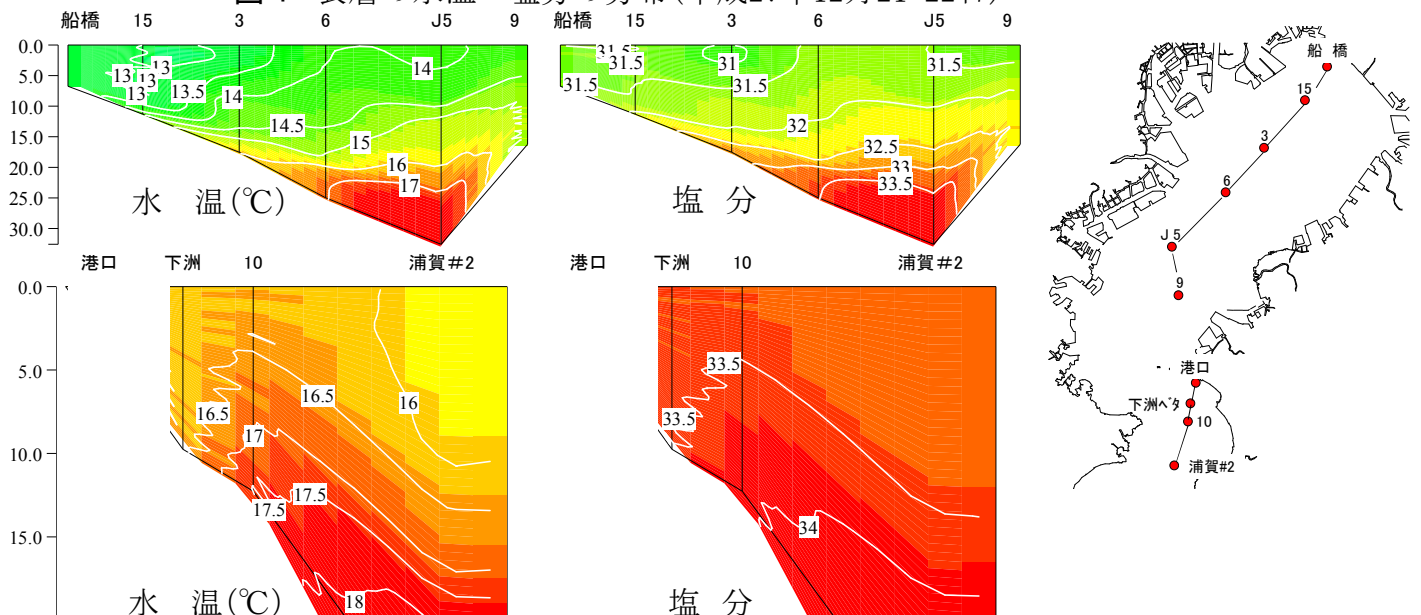


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年12月21-22日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは少なく、渦鞭毛藻のプロロケントルムとケイ藻のキートケロスなどが少量みられる程度でした。透明度は最も低いところで5m以上あり、水色はおおむね黄緑から緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)ともにのり養殖にとって十分な量です。

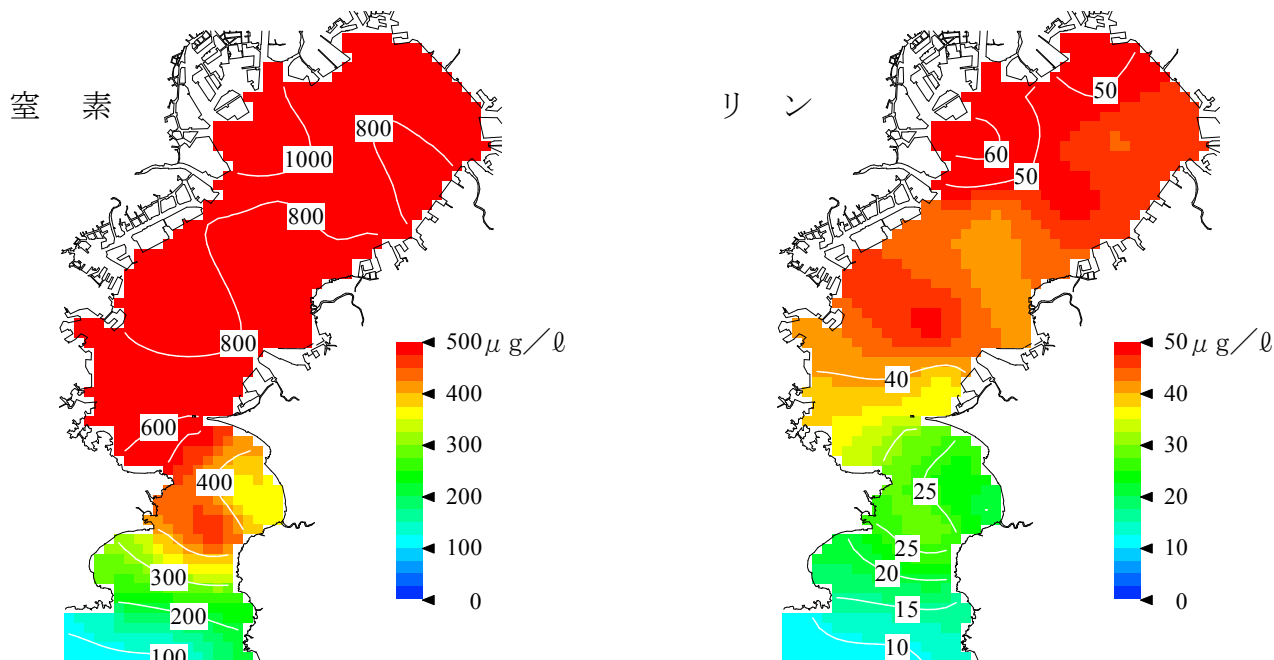


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年12月21-22日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html